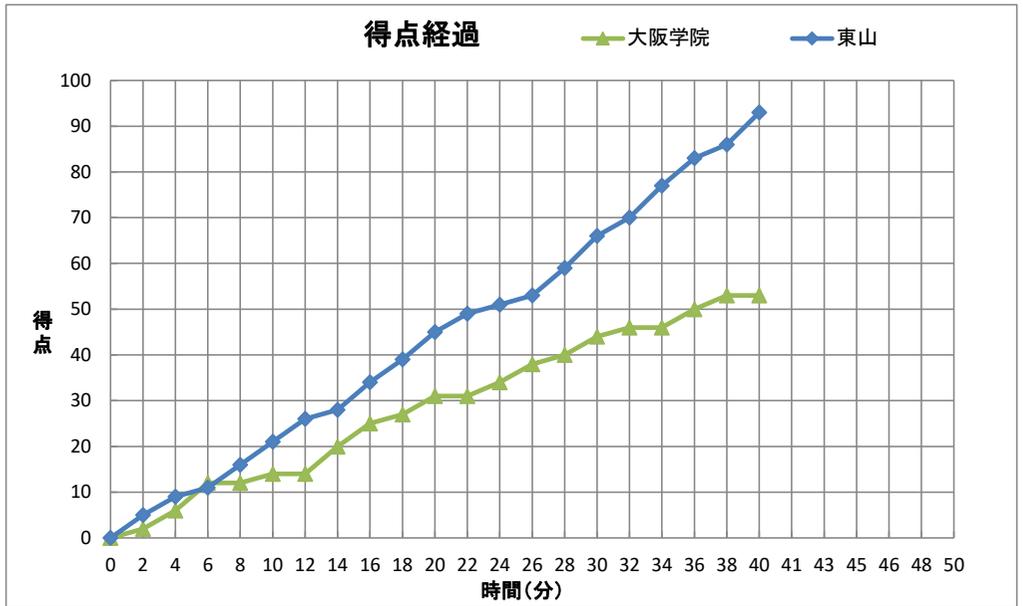




令和3年度
第68回近畿高等学校バスケットボール大会

個人トータル表

男子		6月26日				16:30 開始															
準々決勝						G															
大阪学院 53		<table border="1"> <tr><td>14</td><td>1st</td><td>21</td></tr> <tr><td>17</td><td>2nd</td><td>24</td></tr> <tr><td>13</td><td>3rd</td><td>21</td></tr> <tr><td>9</td><td>4th</td><td>27</td></tr> </table>				14	1st	21	17	2nd	24	13	3rd	21	9	4th	27	93		◎ 東山	
14	1st	21																			
17	2nd	24																			
13	3rd	21																			
9	4th	27																			
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則								
* 4	安達 陸斗	2	0	1	0	2	* 4	西部 秀馬	25	1	10	2	2								
* 5	岩本 悠太	12	0	4	4	0	* 5	堀 陽稀	14	0	7	0	1								
* 6	加藤 律	8	2	0	2	2	6	木下 楽雲	0	0	0	0	0								
7	滝川 虎之介	0	0	0	0	0	7	今野 凌	5	0	2	1	1								
8	岡本 雅生	14	2	3	2	1	* 8	堀田 尚秀	6	2	0	0	2								
9	柏倉 大河	0	0	0	0	0	9	竹内 龍ノ介	2	0	1	0	1								
10	増岡 春樹	2	0	1	0	1	10	角野 寛伍	11	1	4	0	0								
* 11	柳内 海音	7	0	3	1	0	* 11	伊計 叶貴	5	1	1	0	0								
12	服部 航大	8	0	4	0	1	* 12	佐藤 友	5	1	1	0	2								
13	武部 太陽	-	-	-	-	-	13	清水 拳	2	0	1	0	0								
14	森下 航成	-	-	-	-	-	14	曾我部 嵐史	0	0	0	0	0								
15	槌田 要太	-	-	-	-	-	15	矢倉 啓輔	4	0	2	0	2								
* 16	道澤 晴	0	0	0	0	0	16	小泉 広翔	4	0	2	0	0								
17	中島 暖登	0	0	0	0	1	17	針多 慶次朗	8	2	1	0	0								
18	池田 頼鷹	-	-	-	-	-	18	滝本 純也	2	0	1	0	3								
コーチ	高橋 渉					0	コーチ	大澤 徹也					0								
Aコーチ	鳥 和成						Aコーチ	脇阪 凧人													
合計		53	4	16	9	8	合計		93	8	33	3	14								
主審: 大野 哲広 副審: 北村 仁 副審: 矢野 涼介																					



CTO	1・2P		3・4P		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	8:18	17:29	34:05	:	:	:	:	:
TeamB	:	:	:	:	:	:	:	:

〔戦評〕
 大阪府予選3位の大阪学院と京都府予選2位の東山の対戦。
 第1Q、両チームハーフコートマンツーマンでスタート。序盤東山は#4西部の3Pや速攻でリズムよく得点を重ね、対する大阪学院は#5岩本のインサイドや#6加藤の3Pで得点していく。終盤、#4西部の速攻と#11伊計のロング3Pで得点を重ねた東山が21対14の7点リードで第1Q終了。
 第2Q、東山は#5堀がインサイドで強さを見せ、得点を量産。また#8堀田が3Pを沈めるなどバランスのいい攻撃で得点を重ねていく。大阪学院も#12服部や#11柳内のミドルシュートで得点をつないでいくが、東山の攻撃的を絞ることができず徐々に点差が開いてく。45-31の東山14点リードで前半終了。
 第3Q、大阪学院はオールコートマンツーマンの激しいディフェンスから東山のミスを誘う。しかし、東山も#4西部のブロックショットなどで簡単に得点を許さない。大阪学院#8岡本の2本の3Pなどで大阪学院が得点を重ねていくが東山も#15矢倉がゴール下で得点をし、主導権を譲らない。一進一退の攻防が続く中、東山が華麗なパスワークから#7今野のバスケットカウントなどで徐々に点差を広げていく。対する大阪学院も#5岩本がゴール下で存在感を発揮し食らいつく。66対42と東山が大きくリードを広げ最終Qへ。
 第4Q、大阪学院#5岩本のポストでの得点からスタート。そこから東山#10角野の驚異の連続11得点で大きく大阪学院を突き放したところで大阪学院がタイムアウト。タイムアウト後、大阪学院は#8岡本のスティールから速攻で意地を見せる。最後は控えメンバーで戦う余裕を見せた東山が93対53で勝利した。大阪府代表として最後までハードなディフェンスで東山を苦しめた大阪学院も素晴らしかった。